



切磋琢磨！ロードレース大会の名勝負



おがさわら

議会だより

第 124 号

議案審議	2
予算特別委員会	4
一般質問	7
委員会報告	10
編集後記	12

平成29年第1回定例会は、3月7日開会し、3月17日閉会までの11日間を会期としました。平成29年度一般会計当初予算は「航空路開設の推進」、「世界自然遺産地として自然環境の保全と活用を図るための施策の推進」、「返還50周年事業の精査、実行」など6つの考え方を踏まえた編成となっています。前年度比4億3400万円(+10.7%)増で提案され、全会一致で可決しました。そのほか8つの特別会計予算及び、議案等11件が提出され、これらについても全会一致で可決しました。村政に対する一般質問は、3月7日、5人の議員から7件の質問が出されました。(⇒7ページ)

村税条例の改正

●軽自動車税

軽自動車の環境性能(燃費)に応じて軽自動車税の税率が変わります。

電気自動車、天然ガス自動車など環境へのダメージが少ないものだと低い税率で課税されます。

●法人村民税の税率が、9.7%→6.0%に変わります。

●医療費控除の特例(セルフメディケーション税制)

特定の成分を含んだ医薬品の年間購入額が合計1万2,000円を超えた場合、一定の要件を満たしていれば村民税の控除が受けられるようになります。(平成30年度から34年度まで)

保育料の特例減免

世帯に課税される村民税のうち所得割額が 57,700 円未満で、保育園に通う子が、その世帯の第2子の時は保育料が半額・第3子以降無償となります。

また同上所得割額が 77,101 円未満でひとり親世帯などの場合、第2子以降の保育料は無償となります。

補正予算

- 渇水対策のため海水淡水化装置の導入に 499万9000円
- 財政調整基金へ 3192万3000円 など基金への積立てに 8365万9000円

杉田一男副議長が表彰されました

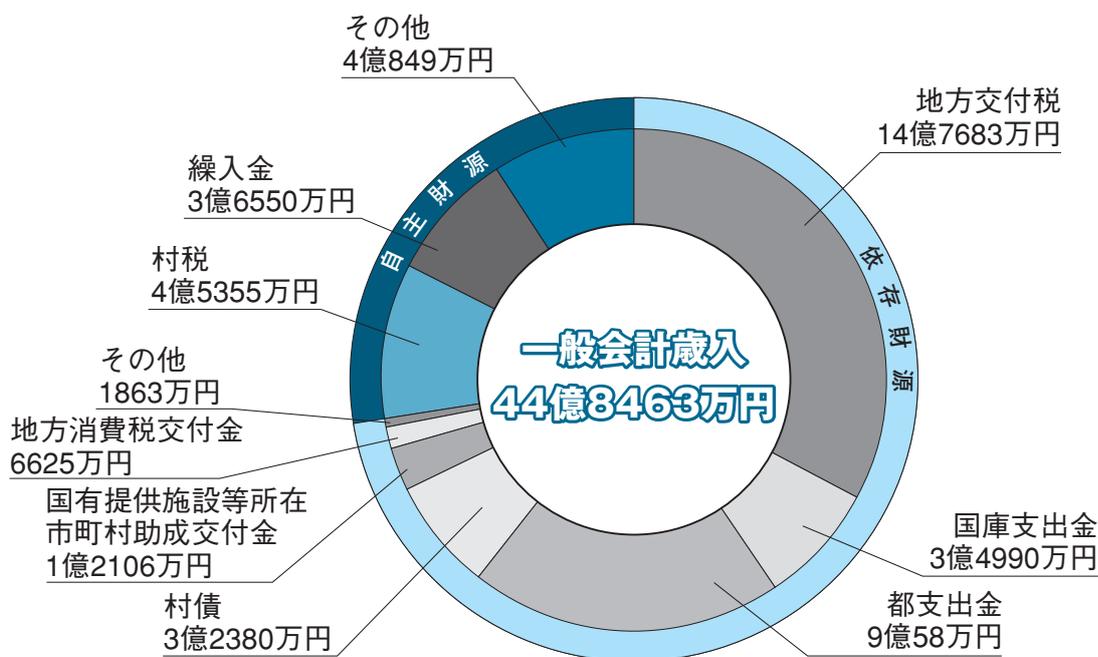
2月8日に開催された「全国町村議会議長会第68回定期総会」において、村議会議員として長きにわたり、地方自治の発展と振興に貢献した功績により、杉田一男副議長（平成29年2月現在の在職期間：17年11か月）、故佐々木幸美議員（同29年2か月）が表彰を受けました。



平成29年度予算特別委員会

安藤重行委員長 鯨江 満副委員長 3月15日, 16日開催

村長から平成29年度の予算案が提出されたことを受け、村議会では予算特別委員会を設置し、2日間にわたり皆様から納めていただく税金の使い道を審査しました。その結果、すべての予算案が提案どおり可決されました。



光ケーブルの維持管理のために

(父島FTTH網の更新工事など)

2億4025万円

父島・母島の保育園建て替えのために

(用地買収、地質調査など)

9653万円

島内ごみ処理施設の管理運営に

1億6216万円

簡易水道施設の整備・改良に

3億4840万円

し尿処理施設の整備・改良に

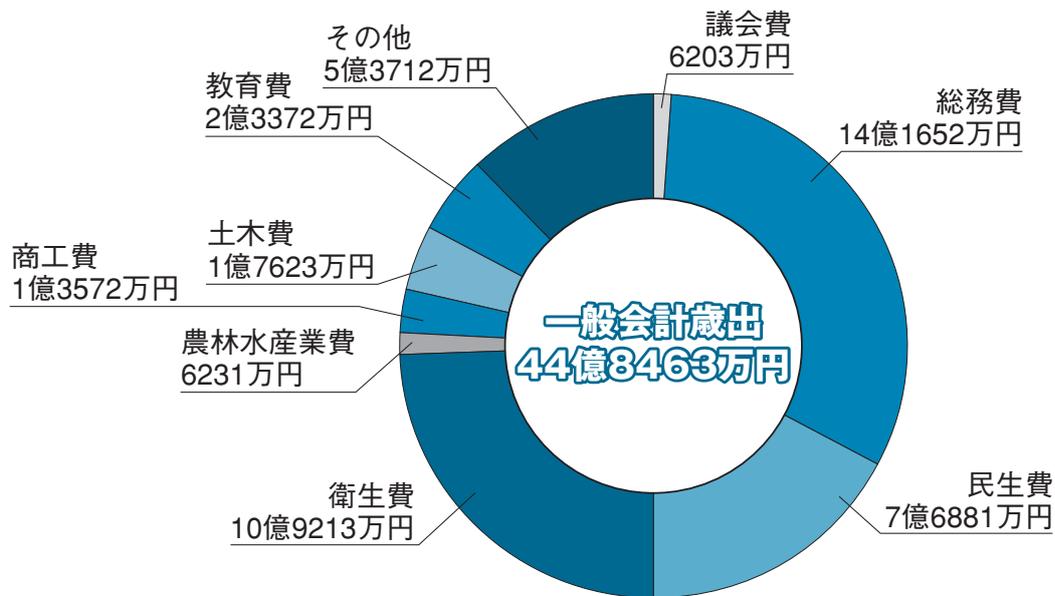
1億1070万円

診療所運営に

5億1769万円

〈各会計予算額〉

一般会計	44億8463万1000円
国民健康保険特別会計	3億9313万0000円
簡易水道事業特別会計	11億5318万3000円
介護保険(保険事業勘定)特別会計	5571万円
介護保険(サービス事業勘定)特別会計	1億7392万2000円
下水道事業特別会計	2億9619万6000円
浄化槽事業特別会計	1496万円
後期高齢者医療特別会計	2328万5000円
合計	65億9501万7000円



歳入

地方交付税

問 渇水対策に必要な予算の半分を、国の特別交付税で算定された。東京都に対しても支援をお願いできないか。(一木)

答 2月の都知事との会見の際、喫緊の課題として渇水対策についてお話をしてきた。(村長)

診療所収入

問 矯正歯科など、現在島でできない医療サービスを導入する予定はあるか。(一木)

答 検討はしている。(医療課長)

バス事業収入

問 28年度に実施した取り組みの状況は。(清水)

答 1日乗車券の値下げなど行った。前年度と比べ乗客は約3,800人、売上も約41万円増えた。(産業観光課長)

国民健康保険税

問 医療保険改革法の制定に伴い、国保税倍増等に深刻な懸念がある。村民が不利益を被らないように対処を。(安藤)

答 都から標準税率が示されれば、村民負担の程度がわかる。検討内容は今後逐次報告する。(村民課長)

答 国・東京都の指針が出てから、今後の課題として考慮。(村長)

歳出

バス事業費

問 バス停留所を英語表記にすることだが、英語以外も加えたら。またデザインは変えないのか。(清水)

答 外国人観光客は欧米の方がほとんど。実情に合わせ今回は変更したい。デザインについては、次回更新の際考えたい。(産業観光課長)

車両購入費

問 来賓対応に使用しない車両は中古車でいいのでは（一木）

答 総合的な判断で新車にする。エコ対応車両の購入を予定。（総務課長）

自然環境保全対策費

問 事業を受託する業者が、資金繰りが大変だと聞いている。解決方法は。（一木）

答 環境保全関連の事業で多い調査委託では、前払い金制度が適用できない。年間契約の中で一定の区切りをつくり実績を報告させ、その段階での精算は可能と聞いている。

（環境課長）

塵芥処理費

問 クリーンセンターの管理事業費が1億3800万円。補修関係の費用が年々増えている。（杉田）

答 29年度で稼働18年目。耐用年数が20年。毎年2000万円弱の補修工事を実施。今後は新しい施設を作るのではなく、資源化率を上げ、焼却ごみを少なくする方法を検討している。

（建設水道課長）

農業振興費

問 中ノ平農業団地の伐採作業は、伐採後の整形をしておかないと土が流れる恐れがある。（杉田）

答 雨水対策等は、状況を見つつ考えたい。29年度は根っこまではとらない伐採のみ。（産業観光課長）

平成 29 年度予算特別委員会 委員長報告

平成 29 年度小笠原村各会計予算（案）は、原案どおり可決すると決定しました。

意見（要旨）

当村は、医療、福祉・介護サービスの充実、拡充を図り、村民のニーズに応えてきたが、人件費を主に、財政負担は確実に増加している。

今後、子育て支援ニーズへの対応、新たに求められている行政課題への取り組み等により、その負担は益々増加することが想定されている。

現在見込める財源は確実に収入すると

ともに、新たな財源確保について、あらゆる可能性を模索していただきたい。

特に、国民健康保険医療保険改革法の制定に伴う保険税などの諸課題、介護保険制度などの実施、建設、工事等の着実な予算執行、老朽化した施設における補修と更新の見極めなど、適切な手立てを確実に講じられるよう一層の努力をされたい。

一般質問

一木重夫議員



渇水対策について

一木議員 ①節水しても料金が変わらないシステムを改善すべきだ②診療所横の湧き水の活用を③高節水性能の洗濯機やトイレの購入に補助を④奥村職員住宅工事の洗浄で上水を大量に使用した。湧き水を使えなかったのか。

村長 ①渇水をしのぎ切った後に総合的に考えていく④湧水の活用を検討していなかった。危機意識が足りなかった。

建設水道課長 ①水道料金見直しを検討する②工事業者に指示、配慮する。車両清掃やト

イレ等への活用は先日官公署で周知。村民だよりで広報する。

総務課長 ③中長期的な渇水対策として検討する。

振興開発特別措置法について

一木議員 奄美群島は小笠原と同様な特別措置法を持っている。前回法改正の際に地元の裁量が大きい交付金制度を創設。予算も増額し、船賃と航空運賃の低廉化に成功した。この制度を導入すればおがさわら丸の運賃も下げることができる。①奄美のように政治・行政一体でさらに働きかける必要があるのでは②土地問題、特別賃借権、硫黄島の課題は切迫している課題。もっと明確なビジョンを作らなくてはいけないのでは。

村長 ①各自治体の努力を見て、勉強になるものは受けとめ、議会と一緒に磨きたい。②日本に復帰してからの課題を子供たちに残したくないが、なかなか難しい。

池田 望議長出張報告



2月10日 株式会社共勝丸を訪問、打ち合わせ（石巻市）副村長

2月14日 東京都島しょ振興公社運営検討委員会に出席

2月16日 環境省へ、西之島に関する意見書を提出（議員6名）

小笠原海運株式会社、伊豆諸島開発株式会社を訪問、新船就航後の状況等について情報・意見交換（議員5名）

東京都町村議会議長会役員会、同定期総会に出席

2月17日 都議会各会派を訪問、挨拶（議員6名）

東京都島嶼町村議会議長会定期総会、東京都島嶼町村会・島嶼町村議会議長会合同会議、東京都島嶼町村一部事務組合定例会に出席

2月19日から21日

奄美大島を訪問し、特別措置法を活用した事業等について視察（議員6名）

清水良一議員



エネルギービジョンの進捗と 来年度の方針について

清水議員 ①村の取り組みと進捗状況、来年度の方針は。②村長の所信を伺う。③エネルギー対策情報交換会とエネルギー協議会は同じか。④東京電力パワーグリッドはエネルギービジョンに賛同したのか。⑤村施設の売電価格は。⑥太陽光発電設備の故障放置の原因は。⑦EV庁用車や防災拠点の充電器設置等、進捗は。⑧扇浦交流センターの太陽光発電稼働状況は。⑨住宅の太陽光発電設置に補助を。

村長 ②村民の安全・安心な生活の保障は村の責務。エネルギー・電力の安定確保が重要だ。エネルギービジョンの短期的取り組みは確実に実施。中長期は費用対効果も精査し、実現可能な取り組みを見出す。

環境課長 ①エネルギー対策情報交換会を開催。太陽光発電設備運用実態調査では維持管理上の課題を再確認し、主要施設の太陽光発電発電量比率と電気料金換算額、コストを算出。導入済み施設は、効率的維持管理と今後の導入に向けた検証が必要。父島の余剰接続容量は公共施設利用で埋まる可能性も。来年度は既存施設の維持管理の仕組みを考え、導入検討時の材料として庁内で情報共有。他機関と情報交換し、最適な形で導入が進むよう取り組む。③まずは情報交換を行った。④短期的な取り組みは理解されたと思う。長期的内容は具体的議論の段階にない。⑤売電伝票は集計可。⑥状況把握できなかった。⑦具体的検討はしていない。⑨補助は今後の課題。

総務課長 ⑧発電能力は月平均約41kW、年間約1,100kWを見込む。

安藤重行議員



災害対策等に伴う安全・安心の 確保について

安藤議員 ①無電柱化推進へ、の取り組み方針と今後の対応は。②無電柱化の実施計画を。③無電柱化の費用は。④時雨ダム等の汚泥に薬剤の成分が蓄積していないか。⑤海水淡水化装置について説明を。⑥村民へ広報を。

村長 ①防災や景観の観点からも望ましいが都や東京電力等と協議すべき課題があり、時間をかけて庁内でも考える。

総務課長 ②都は条例制定準備中で詰めはこれから。村でも議論が必要。③国の資料で1キロ約3億5,000万円。

建設水道課長 ④時雨ダム、小曲ダムは、除去は未実施。時雨ダム、小曲ダム、乳房ダムは、曝気装置の効果でダムの水はほぼ均一である。水銀化合物は、ダム原水からは未検出だ。均一のダム原水を浄水場で処理し、水道法の水質基準を満たしたのが水道水。⑤試運転では小花橋河口から取水したが、現在は海岸から約30メートル沖合で取水中。処理水は一旦連珠ダムに送り、浄水場で安全に処理される。⑥安全性の広報を検討したい。

子育て支援に伴う学童保育の 進捗状況について

安藤議員 ①来年度からの対応と方針は。②子育て支援のネットワークづくりも必要だ。

村民課長 ①父島のとびうおクラブは期間限定で実施可能。母島は現状では実施できない。4月からの一時預かりも、臨時的な事業実施は困難。母島では、地域住民による活動が大変重要だ。②地域資源の有効活用が重要。ネットワークづくりの進め方を検討する。

杉田一男議員



所信について

杉田議員 3年前に中国船の密漁問題が起き、村から父・母両漁協に対策支援金として支援をいただいたが、平成29年度で終了する。大きな問題が山積しており、30年以降も続けられないか。

村長 現在、中国船による違法操業は沈静化した。いまだ中国船が投棄した漁網が海底に残るなど影響はあるが、漁業者の努力もあり、両組合の経営状況は良好に推移している。両組合の考えを伺いながら、支援のあり方を考える。

杉田議員 現在、都や国で行われている支援事業は何か。

産業観光課長 国は、韓国・中国等外国船操業対策基金事業による海底清掃作業を28年度から実施している。都は、父島・母島の各漁業集落が村の離島漁業再生支援事業により行う漁場監視に係る経費の補助、漁業調査指導船「興洋」による底釣りの調査を実施している。**杉田議員** 今、漁場回復を目指す漁業従事者が一番問題にしているのは、海底に残る漁網をどうするかということだ。漁網がある限り根魚はまずいつか、なかなか安定した漁獲高、水揚げ高を望めない。従前の水揚げ量に近づくまでは、何らかの形で行政で面倒を見る必要があるのではないか。中国船の拠点だった髷島列島は、漁網回収に関してはいまだ何の対策も回収も行われていない。少なくとも安全操業ができる状態までもっていきけるよう、少しでも漁業振興が進むように、村長のさらなる尽力をお願いしたい。

村長 幸い時間があるので、まずは父・母両組合の考え方をよく伺いたい。

稲垣勇議員



外来種対策について

稲垣議員 ①今年度3月までの母島のシロアリの状況と今後の対応は。②今年も群飛が確認された場合の対応は。③イエシロアリ以外の外来種への対応は。④外来種侵入・拡散防止の具体策は。⑤世界遺産の管理体制は。⑥動物対処室の獣医師は村の職員か。責任の所在は。⑦都レンジャーの責任の所在は。⑧母島で建設予定の林野庁施設の現状は。

村長 ③世界遺産管理の重点課題。条例は最終手段であり、どのような取り組みが可能か、関係機関や地域関係者と議論している。⑧先日も林野庁の部長に改めてお願いしている。

建設水道課長 ①群飛調査は集落内、集落周辺40日間、猪熊谷周辺以北14日間。集落内と集落周辺、蝙蝠谷仮置き場でイエシロアリの羽アリを少数捕捉。ヤマトシロアリとダイコクシロアリも確認。探照灯基地跡地周辺から北でイエシロアリの羽アリを多数捕捉。猪熊谷トンネル付近から長浜トンネル付近でも捕捉。イエシロアリの島内根絶へ総合的対策実施。②5月下旬からイエシロアリの群飛調査を予定。蝙蝠谷付近のイエシロアリ根絶に重点を置き対策を実施。

環境課長 ④侵入経路別にリスク評価し対策検討。対処法を関係機関と議論。⑤拠点施設の世界遺産センターに環境省職員が常駐。動物対処室の獣医師等も外来種対策の一端を担う。都レンジャーは2名増員。母島にアクティブレンジャー配置予定。⑥おがさわら人とペットと野生動物が共存する島づくり協議会職員。事務局は村環境課。課題があれば都度対応。⑦支庁土木課自然環境担当所属として配置。

小笠原諸島返還50周年記念事業



この50周年という一つの区切りをどう捉えて、これからの50年に向けてどう進んでいくか。(池田)



お祝いだけで済ますとは考えていない。歴史を振り返り、これからの村づくりの展望ということ、村民との間でも何かの形で討論ができるような場にしていきたい。(村長)

世界自然遺産 (継続)

関連する会議のスケジュールについての報告、保全対策の状況について説明を受けました。

貨物船の動向

貨物船共勝丸の新船建造に向けた動きについて報告を受けました。

新船建造資金融資後の返済にあたっての事業計画を、共勝丸から銀行に1月の下旬に提出をした。

2月、副村長、議長が共勝丸本社、銀行、造船会社を訪ね、その後の動向を確認した。

村から銀行には、共勝丸が、小笠原にとって公共性の高い貨物船であるということ、共勝丸にとって一番の収入源であるプロパンガス運搬料の値上げについて、100%の運賃補助をしている東京都の了解があったこと、公共事業による資材の運搬など、今後も貨物量が増える見込みである等、貨物の動向について説明をしてきた。

硫黄島調査特別委員会

硫黄島での訓練や遺骨収容事業について報告があったほか、村議会の行政視察について話し合われました。

小笠原航空路開設推進特別委員会

一木重夫委員長 清水良一副委員長 3月8日開催

12月定例会以降の航空路開設に関する国・東京都の動きについて説明がありました。

視察来島者

- 1月 国土交通省特別地域振興官（小笠原・奄美の振興に関する政策の企画立案等担当）
- 2月 東京都港湾局小笠原空港整備担当部長

小池百合子東京都知事と村長の意見交換

2月都庁において行われた、意見交換の場においての都知事発言について執行部より報告がありました。

- ▶自然を守り村民の命を守る両面から検討を進め、関係機関と調整していく。
- ▶村の要望はしっかりと受け止める。
- ▶航空路調査費は平成29年度予算に1億1000万円計上した。

小笠原を応援する会*の動き

2月28日に開催された会合の概要

- ▶国土交通省、環境省から平成29年度予算状況の報告。
- ▶東京都より航空路の検討状況の報告、意見交換。

*小笠原を応援する会…平成27年9月に設立。二階俊博自民党幹事長等が発起人となり、小笠原に来島経験のある国会議員を中心に構成。

小笠原諸島の振興開発と国益の保全を図り、住民生活の安定を推進する目的をもって課題の解決に向けた取り組みをするため設立されました。

問 東京都の29年度調査の内容は。（杉田）

答 これまでの調査結果を踏まえながら最終方向にまとめていく。環境調査は引き続き実施していきましょう。東京都が掲げている4つの案を各々具体的な自然壊変の影響があるのかといった補足調査をしていくことになるかとみている。

村で行う調査は、洲崎案を実施した場合の削らなくてはいけない土の量を算出するよう航空局から求められているので、まずこちらを実施していきたい。29年度は最終調整の年。突発的に出てくる課題に対して調査を行うようになる見込み。

（企画政策室長）

平成29年第2回定例会会議日程表（予定）

月 日	開始時間	会議名	内容
6月7日（水）	午前10時	本会議	会期の決定、一般質問等
6月8日（木）	午前9時	総務委員会	
	午前11時	硫黄島調査特別委員会	
	午後2時	小笠原航空路開設推進特別委員会	
	午後3時30分	本会議	議案審議

本会議、各委員会は傍聴できます。開会5分前まで傍聴受付を行っています。
またテレビ11チャンネルで中継放送を行っています。ぜひご覧ください。

会議での発言内容など詳しく知りたい時は、会議録をご覧ください。

- 村役場議会事務局
- 地域福祉センター図書室
- 母島支所
- 母島図書室で閲覧できます。

また、パソコンやスマートフォンなどで
見ることもできます。

小笠原村公式サイト→議会事務局→会議録で 検 索

3月議会のキモは予算に
ついてみたいだよ～



編集後記

議会は住民全体の代表者として構成しています。そのため議会だよりでは、より住民視点を持った紙面づくりを心がけています。

2年前、新たな議会だより編集委員としてスタートした時、議会だより改革の大きな柱は、
①文字を大きくすること ②写真を増やし文字数を減らすこと ③住民にとってより有益な情報を優先的に掲載すること ④表紙写真には住民をクローズアップした姿を使うこと、以上の4つでした。①③についてはすぐに着手することができ、今もより良くするために村民の意見を聞きながら改革を進めています。一方、④の表紙写真については、クローズアップすると個人情報や肖像権等の課題があり、なかなか思うように進めることがとても難しい状況があります。

しかし今回、ようやく目指してきた表紙写真にたどり着けたと感じています。ロードレース大会の最終コーナーで切磋琢磨する2人の島っ子の姿にたくさんの元気をもらい、島っ子達の明るい未来を想い描くことができました。

（一木）

★議会だより編集委員

一木重夫 安藤重行★